

遺伝子組み換えて咲いた青いコチヨウラン
 11日、海洋博公園熱帯ドリームセンター



世界初、青いラン 海洋博公園できょうから展示



【本報】世界で初めて一般展示される青いコチヨウランが1日、海洋博公園で報道陣に公開された。コチヨウランは白、赤、黄色などいろいろな色を咲かせるが、これまで青い花はなかった。千葉大の三位正洋教授(植物細胞育種学)らが2012年に遺伝子組み換え技術を使って、青い花を作るのに成功していた。

2日から同公園で始まる第11回アジア太平洋蘭会議・蘭展、第27回沖縄国際洋蘭博覧会で展示される。公開されるのは6株。花の大きさは4〜5センチほどで、深く、神秘的な色を見せている。海洋博公園を管理する沖縄美ら島財団の花城良廣常務理事は「自然にはない青いランは一つの夢でもあった。美しい色をぜひ見てもらいたい」と話した。蘭会議、博覧会は11日まで。世界中のラン研究者・愛好家による発表やイベントがあり、約5万株のランが会場を彩る。

動画